

当院で実施している臨床研究へのご協力をお願い

名古屋医療センターでは、下記の臨床研究を実施しており、「●対象となる患者さん」に該当する方へご協力をお願いしております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合は、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

肺区域切除術における CT ガイド下 VATS マーカー留置の有用性

[研究責任者]

呼吸器外科 鳥越 英次郎

[研究の背景]

近年では肺区域切除術が肺癌に対する標準術式の一つとなっています。肺区域切除術においては局所再発が問題となるため、十分は切除マージンの確保が重要です。一方で肺区域切除術の適応となるすりガラス状陰影を呈する肺癌は、術中に病変部位の特定が困難な症例があり、そのような症例では切除マージンの確保に難渋します。そのため、術中の病変部位特定のためにそれぞれの施設で様々な局所同定法が試みられています。有効な局所同定法を確立することで、より安全でスムーズな肺区域切除後が行われることが期待されています。

[研究の目的]

1990 年代より肺癌手術における局所同定法として CT ガイド下 VATS マーカー留置術が行われており、当院でも採用しています。VATS マーカー留置術は主に肺部分切除術の際に使用されますが、当院では肺区域切除術においても、病変の部位が特定困難で想定される切除ラインと近い症例で使用しています。

当院における肺区域切除術の際に行われた VAT マーカー留置術の有用性を検討し公表することで、呼吸器外科医全体の知識の底上げになると思われる。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2014 年から 2023 年の間に当院で肺切除術前 CT ガイド下 VATS マーカー留置を行った症例は 49 例であり、そのうち肺区域切除前の症例 5 例を対象としました。

●研究期間

臨床研究審査委員会承認後、実施許可日から西暦 2025 年 3 月 31 日まで

●利用する試料（血液・組織等の検体）

なし

●利用するカルテ情報

年齢、性別、併存疾患、喫煙歴、検査結果（血液検査、画像検査、呼吸機能検査）
手術動画、手術記録、術後経過

●検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[研究の資金源、利益相反について]

この研究は、研究費を用いず実施されます。この研究における当院の研究者の利益相反*については、当院の利益相反委員会で審査され、適切に管理されています。

*外部との経済的な利益関係等によって、研究データの改ざん、特定企業の優遇など研究が公正かつ適切に行われていないと第三者から懸念されかねない事態のこと。

[研究の参加について]

この研究実施への参加や途中での参加中止は、あなたの自由な意思で決められます。

患者さん又はその代理の方が、この研究への参加（試料（血液・組織等の検体）やカルテ等の情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、研究責任者等又は「問い合わせ先」にご連絡ください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によっては、この研究の結果が論文などで公表されているなどであなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

[問い合わせ先]

国立病院機構岡山医療センター

呼吸器外科 医師 鳥越 英次郎

電話 086-294-9911（病院代表）